



Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション コマンド

- `clear`
- `commit`
- `end`
- `exit`
- `lite-mode`
- `load`
- `show configuration active`
- `show configuration candidate`
- `show configuration factory-default`
- `show sip`

clear

候補コンフィギュレーション内にある未処理のコミット可能なコンフィギュレーション コマンドをクリアするには、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **clear** コマンドを使用します。このコマンドの **no** 形式はありません。

clear

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

このコマンドを使用後の候補コンフィギュレーションは、アクティブ コンフィギュレーションと同じものになります。

例

次の例では、候補コンフィギュレーションをクリアする方法を示します。

```
se-10-0-0-0 (cusp-config) > clear
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration candidate	コミットされていないコンフィギュレーション コマンドの値がコミットされた場合に、Cisco Unified SIP Proxy の実行コンフィギュレーションを表示します。

commit

反映する Cisco Unified SIP Proxy ポリシー、SIP サーバ グループ、ルート グループ、ルート テーブル、および他のコミット可能なコンフィギュレーションの変更をイネーブルにするには、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **commit** コマンドを使用します。

commit

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

通常の Cisco IOS ソフトウェア コマンドとは異なり、多くの Cisco Unified SIP Proxy コマンドでは、コンフィギュレーションの変更を反映するために **commit** コマンドを使用する必要があります。Cisco Unified SIP Proxy では、候補コンフィギュレーションとアクティブ コンフィギュレーションの概念が使用されます。**commit** コマンドが入力される前は、コンフィギュレーションの変更は候補コンフィギュレーションに含まれています。**commit** コマンドが入力されると、コンフィギュレーションの変更はアクティブ コンフィギュレーションの一部になります。

次のコンフィギュレーション モードのコマンドでは、コンフィギュレーションの変更を反映するために **commit** コマンドを発行する必要があります。

- ポリシー ルックアップ
- ポリシー正規化
- ポリシー時間
- ルート グループ
- ルート テーブル
- サーバ グループ SIP (選択されたコマンドに限られます)



(注)

commit コマンドの前に入力したコンフィギュレーションの変更は、**show configuration active** コマンドを入力した場合には表示されませんが、**show configuration candidate** コマンドを入力した場合は表示されます。**commit** コマンドを使用すると、前回 **commit** コマンドを実行してから行われたコンフィギュレーションの変更が **show configuration active** コマンドの出力に表示されます。

次のコンフィギュレーション モードのコマンドでは、コマンドを反映するために **commit** コマンドを使用する必要はありません。

- アカウンティング
- SIP ネットワーク
- CUSP コンフィギュレーション モードでの SIP コマンド
- トリガー

これらのコマンドは、コミットされる必要のないコマンドの一部でしかありません。コミットできないコマンドは検証され、アクティブ コンフィギュレーションにただちに適用されます。**commit** コマンドはこれらのコマンドに影響を与えません。

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了すると、コンフィギュレーションの変更をまだコミットしていない場合、その変更のコミットを求めるプロンプトが表示されます。

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了する前に変更をコミットするか、変更をコミットしないで単にコンフィギュレーション モードを終了することができます。コミットされていないすべてのコミット可能なコマンドは破棄できます。

例

次の例では、コンフィギュレーションの変更を反映できるように、時間ポリシーを設定し、**commit** コマンドを発行する方法を示します。

```
se-10-0-0-0 (cusp-config)> policy time tpl
se-10-0-0-0 (cusp-config-time)> sequence 1
se-10-0-0-0 (cusp-config-time-seq)> start-time 14:15:20 jan 01 2008
se-10-0-0-0 (cusp-config-time-seq)> end-time 12:00:00 dec 01 2008
se-10-0-0-0 (cusp-config-time-seq)> month jan - feb , may , oct - dec
se-10-0-0-0 (cusp-config-time-seq)> exit
se-10-0-0-0 (cusp-config-time)> exit
se-10-0-0-0 (cusp-config)> commit
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration active	アクティブな Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示します。
show configuration candidate	候補 Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示します。

end

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションまたは EXEC モードを終了し、モジュール EXEC モードに戻るには、**end** コマンドを使用します。

end

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

すべての Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了するとき、未処理のコミットされていないコマンドがある場合は、既存のアクティブ コンフィギュレーションをコミットするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。コマンドをコミットしないで終了すると、未処理のコミット可能なコマンドはすべてクリアされます。

例

次の例では、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードを終了し、モジュール EXEC モードを開始する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp) > end
se-10-0-0-0>
```

次の例では、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了し、コミットされていないコマンドをコミットし、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードを開始する方法を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config) > end

Commit before exiting? (yes/no/cancel) [cancel]:y
Building CUSP configuration...
[OK]

se-10-0-0-0(cusp) >
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure	Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを開始します。
exit	Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードまたは EXEC モードを終了して、上位モードに戻ります。

exit

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションまたは EXEC モードを終了し、上位のモードに戻るには、**exit** コマンドを使用します。

exit

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

すべての Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了するとき、未処理のコミットされていないコマンドがある場合は、既存のアクティブ コンフィギュレーションをコミットするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。コマンドをコミットしないで終了すると、未処理のコミット可能なコマンドはすべてクリアされます。

例

次の例では、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードを終了し、モジュール EXEC モードを開始する方法を示します。

```
se-10-0-0-0 (cusp) > exit
se-10-0-0-0 >
```

次の例では、Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを終了し、コミットされていないコマンドをコミットし、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードを開始する方法を示します。

```
se-10-0-0-0 (cusp-config) > exit

Commit before exiting? (yes/no/cancel) [cancel]:y
Building CUSP configuration...
[OK]

se-10-0-0-0 (cusp) >
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure	Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードを開始します。
end	Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードまたは EXEC モードを終了して、EXEC モードに戻ります。

lite-mode

レコードルート コンフィギュレーションを削除し、ライセンスの制限を変更するには、**lite-mode** コマンドを使用します。

lite-mode

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

すべての Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン	変更内容
-------------------------------	------

8.5	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

なし。

例

次に、**lite** モードを有効にする例を示します。

```
se-10-0-0-0(cusp-config)> lite-mode
```

load

サンプル テンプレート コンフィギュレーション ファイルを Cisco Unified SIP Proxy にロードするには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC コンフィギュレーション モードで **load** コマンドを使用します。このコマンドの **no** 形式はありません。

```
load {ftp-url | pfs-url | tftp-url}
```

構文の説明

<i>ftp-url</i>	ロードするサンプル テンプレート コンフィギュレーション ファイルの FTP URL を指定します。
<i>pfs-url</i>	アクティブ コンフィギュレーションがコピーされる Public File System (PFS) URL、またはアクティブ コンフィギュレーションにコピーされる PFS URL を指定します。PFS URL は、 <code>pfs:/cusp/config/file_path</code> という形式で指定する必要があります。
<i>tftp-url</i>	ロードするサンプル テンプレート コンフィギュレーション ファイルの TFTP URL を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

初期化プロセス中に、デフォルトのコンフィギュレーションが自動的にロードされます。サンプル テンプレート コンフィギュレーション ファイルをロードできるのは、システムが初期化され、デフォルトのコンフィギュレーションがシステムにロードされた後になります。



(注)

このコマンドは、特定のファイルに列挙されているコンフィギュレーション コマンドをロードします。ファイル内のコミットできないコマンドが、ファイル内にある一連のコミット可能なコマンドに依存している場合、ファイル内のコミットできないコマンドの前に **commit** コマンドも列挙する必要があります。

例

次の例では、XXXXX という名前のサンプル テンプレート コンフィギュレーション ファイルをロードする方法を示します。

```
se-10-0-0-0# load-config XXXXX
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration active	アクティブな Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示します。

show configuration active

ルート テーブルとルートを除くアクティブな Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示するには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードと Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **show configuration active** コマンドを使用します。

show configuration active

特定のコンフィギュレーション コンテキストを表示するオプション キーワードのあるコマンドは、次のとおりです。

show configuration active accounting

show configuration active policy

show configuration active policy lookup

show configuration active policy normalization

show configuration active policy time

show configuration active route group

show configuration active route table

show configuration active server-group radius

show configuration active server-group sip

show configuration active server-group sip group

show configuration active server-group sip ping-options

show configuration active sip

show configuration active sip ip-address queue

show configuration active sip listen

show configuration active sip network

show configuration active sip record-route

show configuration active sip tls

show configuration active trigger

show configuration active trigger pre-normalization

show configuration active trigger post-normalization

show configuration active trigger routing

show configuration active verbose

■ show configuration active

構文の説明

すべてのキーワード	(オプション) 特定のコンフィギュレーション コンテキストを表すキーワードを入力して、そのコンテキストのアクティブ コンフィギュレーションだけを表示できます。
verbose	(オプション) ルート テーブルとルートを表示します。

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)
Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

1.0	このコマンドが追加されました。
8.5	このコマンドが更新されました。

使用上のガイドライン

コミットされたすべてのコミット可能なコマンドおよびすべてのコミットできないコマンドを表示するには、このコマンドを使用します。すべてのアクティブ コンフィギュレーションを表示するか、または特定のコンフィギュレーション コンテキストのアクティブ コンフィギュレーションだけを表示できます。

verbose 引数を追加しない限り、システムによりルート テーブルまたはルートは表示されません。

例

次の例では、Cisco Unified SIP Proxy アクティブ コンフィギュレーションをすべて表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration active

Building CUSP configuration...
!
server-group sip global-load-balance request-uri
server-group sip retry-after 0
server-group sip element-retries udp 3
server-group sip element-retries tls 1
server-group sip element-retries tcp 1
sip dns-srv
  enable
  use-naptr
end dns!
!
no sip header-compaction
no sip logging
!
sip max-forwards 70
sip network al standard
no non-invite-provisional
allow-connections
retransmit-count invite-server-transaction 9
retransmit-count invite-client-transaction 5
retransmit-count non-invite-client-transaction 9
retransmit-timer clientIn 64000
retransmit-timer serverIn 64000
retransmit-timer T4 5000
retransmit-timer T2 4000
retransmit-timer T1 500
retransmit-timer TU2 32000
```

```
retransmit-timer TU1 5000
end network
!
no sip peg-counting

sip tcp connection-timeout 240
sip tcp max-connections 256
!
sip overload reject retry-after 0
!
accounting
no enable
no client-side
no server-side
end accounting
!
policy lookup pl
end policy
!
no server-group sip global-ping
!
end
```

次の例では、RADIUS アカウンティング コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration active accounting
```

```
Building CUSP configuration...
!
accounting
enable
client-side
server-side
end accounting
```

次の例では、SIP リッスン ネットワーク コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-192-168-20-42(cusp)> show configuration active sip listen
```

```
Building CUSP configuration...
!
sip ip-address listen external udp 192.168.20.42 5061
sip ip-address listen internal udp 192.168.20.42 5060
```

次の例では、SIP ネットワーク コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration active sip network
```

```
Building CUSP configuration...
!
sip ip-address network external standard
allow connections
end network
!
sip ip-address network internal standard
allow connections
end network
```

■ show configuration active

次の例では、トリガー条件コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration active trigger condition

Building CUSP configuration...
!
trigger condition default-condition
  sequence 1
    in-network internal
  end sequence
end trigger condition
!
trigger condition mid-dialog
  sequence 1
    message request
    route-uri-user rr
  end sequence
end trigger condition
!
trigger condition radius-interim
  sequence 1
    message response
    method UPDATE
  end sequence
end trigger condition
```

次の例では、トリガー条件正規化前コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-192-168-20-42(cusp)> show configuration active trigger pre-normalization
Building CUSP configuration...
!
trigger pre-normalization sequence 1 policy norm2 condition default-condition
```

次の例では、サーバグループ SIP グループ コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-192-168-20-42(cusp)> show configuration active server-group sip group
Building CUSP configuration...
!
server-group sip group sgl.cisco.com external
  element ip-address 192.168.1.47 5060 udp q-value 0.5 weight 0
  element ip-address 192.168.1.47 5061 udp q-value 0.7 weight 0
  failover-resp-codes 500 , 503 , 506
  lbtype global
  ping
end server-group
```

次の例では、ポリシー正規化コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-192-168-20-42(cusp)> show configuration active policy normalization
Building CUSP configuration...
!
policy normalization norm2
  header add SUPPORTED sequence 1 first 100rel
  header update REQUIRE first path
  header update SUBJECT first Hello
end policy
```

次の例では、ポリシー検索コンテキストだけのアクティブ コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-192-168-20-42(cusp)> show configuration active policy lookup
Building CUSP configuration...
!
policy lookup lnx-policy
  sequence 1 to-lnx header ruri uri-component user
    rule prefix
  end sequence
  sequence 2 to-sun header ruri uri-component user
    rule exact
  end sequence
end policy
!
policy lookup mid-dialog-policy
  sequence 1 mid-table header ruri uri-component uri
    rule exact
  end sequence
end policy
se-192-168-20-42(cusp)>
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration candidate	コミットされていないコンフィギュレーション コマンドの値がコミットされた場合に、Cisco Unified SIP Proxy の実行コンフィギュレーションを表示します。
show configuration factory-default	工場出荷時のデフォルト設定を表示します。

show configuration candidate

コミットされていないコンフィギュレーション コマンドの値がコミットされた場合に Cisco Unified SIP Proxy の実行コンフィギュレーションを表示するには、Cisco Unified SIP Proxy 管理モードまたは Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション モードで **show configuration candidate** コマンドを使用します。

show configuration candidate

特定のコンフィギュレーション コンテキストを表示するオプション キーワードのあるコマンドは、次のとおりです。

show configuration candidate accounting

show configuration candidate policy lookup

show configuration candidate policy normalization

show configuration candidate policy time

show configuration candidate route group

show configuration candidate route table

show configuration candidate server-group radius

show configuration candidate server-group sip

show configuration candidate server-group sip group

show configuration candidate server-group sip ping-options

show configuration candidate sip listen

show configuration candidate sip network

show configuration candidate sip record-route

show configuration candidate trigger condition

show configuration candidate trigger pre-normalization

show configuration candidate trigger post-normalization

show configuration candidate trigger routing

show configuration candidate verbose

構文の説明

すべてのキーワード

(オプション) 特定のコンフィギュレーション コンテキストを表すキーワードを入力して、そのコンテキストのコミットされていないコンフィギュレーションだけを表示できます。

verbose

(オプション) ルート テーブルとルートを表示します。

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)
Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーション (cusp-config)

コマンド履歴**Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容**

1.0	このコマンドが追加されました。
8.5	このコマンドが更新されました。

使用上のガイドライン

commit コマンドを入力する場合にアクティブ コンフィギュレーションの内容を表示するには、このコマンドを使用します。このコマンドは、アクティブ コンフィギュレーションに加え、前回 **commit** コマンドが入力されてから行われたすべての変更を表示します。

verbose 引数を追加しない限り、システムによりルート テーブルまたはルートは表示されません。

例

次の例では、**commit** コマンドが入力された場合に Cisco Unified SIP Proxy 実行コンフィギュレーションをすべて表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration candidate

Building CUSP configuration...
!
server-group sip element-retries udp 3
server-group sip element-retries tls 1
server-group sip element-retries tcp 1
server-group sip global-load-balance request-uri
server-group sip retry-after 0
!
no sip 100-response
no sip dns srv-records
no sip header-compaction
no sip logging
!
sip max-forwards 70
sip network a1 standard
allow-connections
end network
!
sip overload reject retry-after 0
!
no sip peg-counting
!
sip tcp connection-timeout 240
sip tcp max-connections 256
!
accounting
no enable
no client-side
no server-side
end accounting
!
policy lookup p1
end policy
!
no server-group sip global-ping
!
end
```

■ show configuration candidate

次の例では、RADIUS アカウンティング コンテキストだけのコミットされていないコンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration candidate accounting
```

```
Building CUSP configuration...
!
accounting
  enable
  client-side
  server-side
end accounting
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit	反映するように選択された Cisco Unified SIP Proxy コマンドのコンフィギュレーションの変更を有効にします。
show configuration active	アクティブな Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示します。
show configuration factory-default	工場出荷時のデフォルト設定を表示します。

show configuration factory-default

工場出荷時のデフォルト設定を表示するには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードで **show configuration factory-default** コマンドを使用します。

show configuration factory-default

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド モード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン 変更内容

バージョン	変更内容
1.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco Unified SIP Proxy の工場出荷時のデフォルト設定を表示するには、このコマンドを使用します。システムを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする場合、システム上に格納されているこの設定になります。

例

次の例では、工場出荷時のデフォルト設定を表示する方法を示します。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show configuration factory-default
```

```
Building CUSP configuration...
!
server-group sip global-load-balance call-id
server-group sip retry-after 0
server-group sip element-retries tcp 1
server-group sip element-retries udp 3
server-group sip element-retries tls 1
sip dns-srv
no enable
use-naptr
end dns
!
no sip header-compaction
no sip logging
!
sip max-forwards 70
!
no sip peg-counting
!
sip privacy service
sip queue message
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 20
end queue
!
sip queue radius
```

■ show configuration factory-default

```
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 20
end queue
!
sip queue request
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 20
end queue
!
sip queue response
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 20
end queue
!
sip queue st-callback
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 10
end queue
!
sip queue timer
drop-policy none
low-threshold 80
size 2500
thread-count 8
end queue
!
sip queue xcl
drop-policy head
low-threshold 80
size 2000
thread-count 2
end queue
!
route recursion
!
sip tcp connection-timeout 240
sip tcp max-connections 256
!
no sip tls
!
accounting
no enable
no client-side
no server-side
end accounting
!
no server-group sip global-ping
!
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration active	アクティブな Cisco Unified SIP Proxy コンフィギュレーションを表示します。
show configuration candidate	コミットされていないコンフィギュレーション コマンドの値がコミットされた場合に、Cisco Unified SIP Proxy の実行コンフィギュレーションを表示します。

show sip

SIP ログ ファイルを表示するには、Cisco Unified SIP Proxy EXEC モードで **show sip** コマンドを使用します。

```
show sip {message | peg-counting} log [options]
```

構文の説明

message	SIP メッセージ ログを表示します。
peg-counting	SIP ペグ カウント ログを表示します。
<i>options</i>	ログ ファイルを表示するオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ログの末尾から数えて指定した行数にある内容を表示します。 • 別のコマンドに出力を送信します。 • ログの最新のエントリを表示し、その内容を更新し続けます。

コマンドモード

Cisco Unified SIP Proxy EXEC (cusp)

コマンド履歴

Cisco Unified SIP Proxy バージョン	変更内容
1.0	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

SIP メッセージ ログ ファイルは、10 MB ごとまたは毎晩交換され、pfs://cusp/log/sipmsg に格納されます。SIP ペグ カウント ログ ファイルは、10 MB ごとまたは毎晩交換され、pfs://cusp/log/pegcount に格納されます。

例

次の例は、**show sip message log** コマンドの出力例です。

```
se-10.0.0.0(cusp)> show sip message log

Request received at Wed, 19 Nov 2008 21:01:25,081 GMT on 192.168.20.101 on port 6060 from
the Remote IP 192.168.20.25 on port 6080

INVITE sip:735551212@192.1.1.75:6061 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP 192.168.20.5:6080;branch=z9hG4bK-1-0
Max-Forwards: 70
To: sut <sip:735551212@192.1.1.75:6061>
From: sipp <sip:sipp@192.168.20.5:6080>;user=phone;vnd.pimg.port=1;tag=1
Contact: sip:sipp@192.168.20.5:6080
Call-ID:1-7675@192.168.20.5
CSeq: 1 INVITE
Content-Length:135
P-Asserted-Identity: <sip:alice@home1.net>
Cisco-Guid: 1234567890
Subject: Performance Test
Content-Type: application/sdp

v=0
o=user1 53655765 2353687637 IN IP4 192.168.20.5
s=-
```

```
c=IN IP4 192.168.20.5
t=0 0
m=audio 6070 RTP/AVP 0
a=rtpmap:0 PCMU/8000
```

```
MESSAGE COMPLETE
```

次の例は、**show sip peg-counting log** コマンドの出力例です。

```
se-10.0.0.0(cusp) > show sip peg-counting log
```

Message	Delta In Initial	Delta Out Initial	Delta In Retrans	Delta Out Retrans	Total In Initial	Total Out Initial	Total In Retrans	Total Out Retrans
INVITE	0	0	0	0	0	0	0	0
ACK	0	0	0	0	0	0	0	0
CANCEL	0	0	0	0	0	0	0	0
BYE	0	0	0	0	0	0	0	0
OPTIONS	0	0	0	0	0	0	0	0
REGISTER	0	0	0	0	0	0	0	0
SUBSCRIBE	0	0	0	0	0	0	0	0
NOTIFY	0	0	0	0	0	0	0	0
PRACK	0	0	0	0	0	0	0	0
REFER	0	0	0	0	0	0	0	0
UPDATE	0	0	0	0	0	0	0	0
PUBLISH	0	0	0	0	0	0	0	0
INFO	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	0	0
180	0	0	0	0	0	0	0	0
181	0	0	0	0	0	0	0	0
182	0	0	0	0	0	0	0	0
183	0	0	0	0	0	0	0	0
200	0	0	0	0	0	0	0	0
202	0	0	0	0	0	0	0	0
300	0	0	0	0	0	0	0	0
301	0	0	0	0	0	0	0	0
302	0	0	0	0	0	0	0	0
305	0	0	0	0	0	0	0	0
380	0	0	0	0	0	0	0	0
400	0	0	0	0	0	0	0	0
401	0	0	0	0	0	0	0	0
402	0	0	0	0	0	0	0	0
403	0	0	0	0	0	0	0	0
404	0	0	0	0	0	0	0	0
405	0	0	0	0	0	0	0	0
406	0	0	0	0	0	0	0	0
407	0	0	0	0	0	0	0	0

■ show sip